

様式第3号(第4条関係)

液化石油ガス設備工事概要書

容器(貯蔵能力500kg超1,000kg未満) 表

1 届出の内容

液化石油ガス設備工事	新設 ・ 変更
------------	---------

2 液化石油ガス販売事業者(予定)

登録番号	事業者名称・販売所名称

3 工事従事者(設備工事に従事した者全員を記入すること。)

氏名	免状交付地	設備士免状No	直近の講習受講年月日
	都道府県		年 月 日

4 供給設備

項目	対応事項
(1) 屋外の火気との距離	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水平距離( m)</li> <li>・ 対象物件(駐車場、電気設備、ボイラー、焼却炉、燃焼器具、その他 )</li> <li>・ 2m以内の場合の措置 ( )</li> </ul>
(2) 容器の腐食防止措置	ア 床は水平で排水が良い。(コンクリート打ち等) イ その他 ( )
(3) 容器を40度以下に保つ措置	ア 屋根 イ 隔壁 (対象熱源 ) ウ 散水装置 エ その他 ( )
(4) 容器を転落、転倒等による損傷防止措置	ア 屋根又はひさしの垂直投影面の内側にある。 イ チェーン ) ウ その他 ( )
(5) 流出防止措置 (ハザードマップ等で1m以上の浸水が想定されている地域)	ア 軒先の設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 固定金具 (ベルト又は鉄鎖が外れにくいもの)</li> <li>・ ベルト又は鉄鎖 (ゆるみなく取付け固定)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 20kg超え容器：容器の底部からの高さ1/4及び3/4程度の位置(*いずれか1本はプロテクター開口部に通して取付け可)</li> <li>□ 20kg以下容器：プロテクター開口部に通す</li> </ul> </li> </ul> イ 容器収納庫への保管
(6) 換気の状態 (独立した容器置場に収納した場合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 容器置場の面積 m<sup>2</sup></li> <li>・ 換気口面積(合計) m<sup>2</sup></li> </ul> *二方向以上に分散し、床面に接していること。
(7) 強制気化装置	ア あり *ありの場合型式認定合格証を添付すること。 イ なし

5 ガス漏れ警報器設置状況

設置年月日	メーカー・型式・機種名等	設置個数

6 施工後の表示(掲示したものと同様に記入すること。)

工事事業者の氏名又は名称	連絡先	施工年月日又は工事番号

7 配管の状況

(1) 配管がすべて露出	(2) の場合埋設管腐食防止装置
(2) すべて埋設又は一部埋設	

8 添付書類

- (1) 案内図(施設又は建築物の位置を示す図)
- (2) 供給設備付近の配置図(施設等の内における貯蔵場所を示す見取図)
  - \*火気距離等記入
- (3) 配管図(アイソメ図)
- (4) 気密試験結果(自記圧力計記録)
- (5) 写真 供給設備(容器、集合配管、容器置場付近、屋根等、埋設配管)  
消費設備(ガス漏れ警報器)